

特記仕様書

- 1 総 則 この特記仕様書は、市川市における救急隊員用防寒衣の購入について必要事項を定めることを目的とする。
- 2 件 名 救急隊員用防寒衣の購入
- 3 使用生地 別紙「縫製規格書」のとおり
- 4 数 量 救急隊員用防寒衣（上衣） 9着
救急隊員用防寒衣（ズボン） 10本
詳細は別紙「所属別購入数」のとおり
- 5 納入期限 令和5年1月20日（金）
- 6 納入場所 市川市消防局 消防総務課（市川市八幡1丁目8番1号）
- 7 担当課 市川市消防局 消防総務課
- 8 その他
 - 入札参加申請前に、市川市消防局消防総務課に生地規格についての「公的機関が発行する試験証明書」又は「社内試験成績書」（以下「試験証明書等」という。）を提出し、「試験証明書等」に市川市消防局消防総務課の受付印を得ること。（表地の耐水性、表地および製品の摩擦帯電電荷量の試験結果が確認できるもの。）
 - 入札参加申請の際に必要な書類に併せてメーカーからの「出荷引受書」について提出すること
 - 落札者は、「出荷証明書」をすみやかに契約課に提出すること。
 - 契約業者は寸法表に基づき吏員各々に対して着合わせ採寸を実施すること。寸法表で対応できない吏員については別寸で対応すること。

なお、採寸日は令和4年8月29日～9月1日の4日間で、時間はいずれも8時40分から11時00分までとする。

 - 防寒衣に使用する材料、付属品は全般にわたって十分検査が施され、縫製規格書の全てを満足するものでなければならない。
 - 縫製規格書の細部については、すべて担当課の承認を受け指示に従うものとする。
 - 防寒衣の寸法形状においては、縫製規格書に定めるものとし、通常の活動を実施するに十分な機能、強度を有し、傷・ムラ・斑点・汚れ、その他外観を損ねるようなものであってはならない。
 - 本仕様書に疑義が生じた時は、担当課の指示をうけること。

- 本仕様書に記載のない事項に関しては、担当課及び契約課の指示に従うものとする。
- 納品に際しては担当課担当者及び契約課担当者の検収を受けるものとする。
- 暴力団等排除に係る契約解除に関する特約条項を遵守すること。
- 本仕様書に定めのない事項については、物品供給契約書（「物品供給契約約款」を含む。）に定めるとおりとする。

縫製規格書

救急隊員用防寒衣

令和4年度

市川市消防局

1 規格

この縫製規格書は、市川市消防局に納入する、救急隊員用防寒衣（以下「防寒衣」という）の購入について必要事項を定めることを目的とし、製品規格は下表の通りとし、形状は縫製規格書の通りとする。

製造業者	上下
(株)関東小池	ディフェンザ3上下 サックス

2 形状

(1) 上衣

- ア. ハーフコート型とする。
- イ. 衿ぐりにはサイズアジャスト用のドロコードを有すること。
- ウ. 袖接ぎはデザイン袖で接合部には反射パイピングを有し、かつバタツキ防止用の反射材タブを有すること。
- エ. 背ヨーク、両袖、両脇下にはベンチレーションを有すること。
- オ. 背ヨーク、胸部、袖タブ、上着裾には救急隊員の視認性向上のために反射材を施すこと。
- カ. ウィルスバリア性に優れたものであり、透湿防水機能を付加したものであること。
- キ. 両脇には聴診器が入る深さのマチ付ポケットを有すること。
- ク. 色相 主たる部分がサックス（配色不可）であること。
- ケ. 吸湿速乾素材を使った替衿式であること（LED用アタッチメント用ボタン付き）
- コ. 着脱式共生地フードを有すること。
- サ. 右袖に共生地ワッペンを面ファスナー着脱式で縫い付ける。
- シ. 見返し部にはキルトライナー着脱用のファスナーを取り付ける。

(2) ズボン

- ア. 前開きファスナー付きでウエストゴムと調整ヒモ付きにすること。
- イ. 両脇にポケットをつけること。
- ウ. 両足には救急隊員の視認性向上のために反射材を施すこと。
- エ. ウィルスバリア性に優れたものであり、透湿防水機能を付加したものであること。
- オ. 裾口はヒョク付きファスナー明きで、面ファスナー付きのタブで調整できるようにすること。

(3) キルトライナー

- ア. 取外し可能のベスト型とする。
- イ. 縫い代パイピング始末にすること。

3 使用材料

(1) 表生地

ナイロン綾織生地に透湿防水加工をしたものとし、次の項目を満たすものとする。
透湿防水膜はP T F Eを使用すること。

耐水度	初期 300kPa 以上	(J I S L 1 0 9 2 B 法)
透湿度	初期 20,000 g/m ² /24h 以上	(J I S L 1 0 9 9 B - 1 法)
撥水性	初期 5	(J I S L 1 0 9 2 スプレー試験)
人工血液バリア性	クラス 6 以上	(J I S T 8 0 6 0 D 法)
ウィルスバリア性	クラス 6 以上	(J I S T 8 0 6 1 D 法)
色相	サックス 1 色とし、配色は認めない	

(2) 反射材 (パイピング以外)

超高輝度マイクロプリズム広角再帰反射テープ シルバー

* 基布と表面に空気層がなく、水滴が付いた部分も再帰反射する構造である

* 気候に関係なく十分な性能を発揮するために周辺温度-40℃に置き 24 時間

放置、23℃で 24 時間状態調節を行った後、シワや割れが認められないこと

観測角	入射角
	5°
0.2°	1,000 以上
0.33°	600 以上

表生地（参考）

材 料	項目			備考(試験方法等)	
表 生 地	種類	表地:ナイロン 100% 中間層:PTFEを基材とするフィルム 裏地:ナイロン 100% 3層構造		JIS L 1030	
	密度	タテ	700 以上	JIS L 1096	
		ヨコ	450 以上		
	質量(g/m ²)	150 以下		JIS L 1096	
	厚さ(mm)	0.35 以下		JIS L 1096	
	色相	指定色		当局が示す見本品を参照	
	引張強さ(N)	タテ	800 以上	JIS L 1096	
		ヨコ	550 以上	ラベル・ストリップ法	
	引裂強さ(N)	タテ	12 以上	JIS L 1096	
		ヨコ	12 以上	ペンジュラム法	
	剥離強さ(N/cm)	タテ	0.7 以上	JIS K 6404	
		ヨコ	0.7 以上		
	寸法変化率(%)	タテ	±3.0 以内	JIS L 1096-G 法 (ダブル乾燥)	
		ヨコ	±3.0 以内		
	染色堅牢度(級)	区分	変退色	汚染	
		洗濯	4 以上	4 以上	JIS L 0844 A-2 法
		摩擦(乾)		4 以上	JIS L 0849 II 形
		耐光	3 以上		JIS L 0842
		酸	4 以上	4 以上	JIS L 0848
		アルカリ	4 以上	4 以上	
	耐水度(50 洗後)	生地(kPa)	300 以上(250 以上)		JIS L 1092 高水圧法・静水圧法 (目皿使用)
	耐水度(ドライ処理 10 回後)	生地(kPa)	250 以上		JIS L 1092 高水圧法・静水圧法 (目皿使用)
	撥水度(点)	原布	5 以上		JIS L 1092 スプレー試験
洗濯 50 回後		3 以上			
透湿度	g/m ² 24h	20,000 以上		JIS L 1099 B-1 法	
耐人工血液浸透性(人工血液バリア性) 50 洗後	クラス 6 以上			JIS T 8060 D 法	
耐バクテリオファージ浸透性(ウイルスバリア性) 50 洗後	クラス 6 以上			JIS T 8061 D 法	
摩擦帯電電荷量(μc/m ²)	生地	アクリル 4 以下		JIS T 8118 湿度 30%	
		ナイロン 4 以下			

4 縫製

(1) 全般

- ア. 各部縫合は、縫い目の飛び、外れの無い優良なものであること。
- イ. 縫い代は各部に適した十分なものであること。
- ウ. 調子は、縫い目が優良で縫い曲がり極力目立たないものであること。
- エ. 返し縫いすべき部分にはきちんと施してあること。
- オ. 反射テープは約 50 mm巾とし、剥がれやめくれがないこと。

(2) 上衣

- ア. 衿は2枚裁ちで、衿グリには目貼りテープを貼ってあること。
- イ. 前合わせ部はファスナー開閉式にて十分な見返しを取ってあること。また、比翼同士は面ファスナーにて着脱できること。
- ウ. 左胸には底部へダーツ入りの雨蓋付ポケットをたたきつけ、両脇には雨蓋付き箱ヒダポケットをたたきつけ、ポケット下部には返し縫いを利用した水抜きがあること。雨蓋は、面ファスナー止めであること。
- エ. 胸部、背ヨーク部、袖調節タブ表面、裾部（一周）に反射テープを縫い付ける。
- オ. 袖口は半ゴム入り絞り、半ベルト式で、マジックテープによる調節ができるようにする。
- カ. 袖はデザイン袖で、袖から身頃へ繋がっている切り替えに、反射パイピングを挟み込み縫製。また、左袖にペン差しのポケットをたたきつける。
また、右袖には共生地ワッペン（面ファスナー着脱）を取り付ける。
- キ. 見返しは別売キルトライナー用のファスナーを取り付けてあること。
- ク. 衿上部には首にフィットさせることのできる調節の為のコードを入れ、コード先にはホツレ止めの留具をつけること。
- ケ. 両袖に腕の bataつき防止の為、面ファスナータブ調節を取り付ける。このタブの表には反射帯をたたきつける。
- コ. 両袖下、両脇には止水ファスナーによるベンチレーション（開口部）を施し、身頃上半身、袖部には滑りのよいメッシュ裏地を施し、着脱時に絡まないよう、各開口部にて固定用に縫いとめること。
- サ. 両胸にはマイク用フックを取付けること。

(3) 替衿

- ア. 上着本体に小型のドットボタンで着脱できる仕組みであること。
- イ. 内側（肌に触れる側）は吸湿速乾素材によるメッシュを使用すること。
- ウ. 外側は本体と共生地とし、本体衿を上部から挟み込むように装着すること。
- エ. フード取外し用のドットボタンを付けること。

(4) フード

- ア. ゴム紐で巾調整出来る仕組みであること。
- イ. 前面を面ファスナーにて開閉できること。
- ウ. ドットボタンにて替衿と取外し出来ること。

(5) キルトライナー

- ア. ファスナーとドットボタンで上衣と取外し可能な仕組みであること。
- イ. 肌側がキルト地でアウター側がタフタにすること。
- ウ. 縫い代は全てパイピング始末にすること。

(6) ズボン

- ア. 前開きファスナーとドットボタンをつけること。
- イ. 両脇にカーゴポケットをたたきつけること。
- ウ. ウエストにゴムと調整ヒモを入れ、左右キーループを付けること。
- エ. 裾口は切替利用のファスナー開きのヒヨクでかくれるようにし、面ファスナー付きのタブを付け調整できるようにすること。
- オ. 裾口に反射帯をつけること。

5 寸法

寸法にあたってはメーカーが定める寸法とし、S、M、L、LL、3L、4L、5Lとする。
(単位cm)

サイズ	上衣			ズボン			許容差
	着丈	胸囲	衿丈	総丈	股下	腰囲	
S	75	115	80	101	71	100	+2、-1.5
M	78	118	82	104	73	103	+2、-1.5
L	80	121	85	107	75	106	+2、-1.5
LL	82	124	87	110	77	109	+2、-1.5
3L	84	127	90	113	79	112	+2、-1.5
4L	86	134	92	114	80	124	+2、-1.5
5L	88	144	92	115	80	138	+2、-1.5

6 プリント

<背中>オレンジ

背中用 W320mm×H90mm

市川市消防局

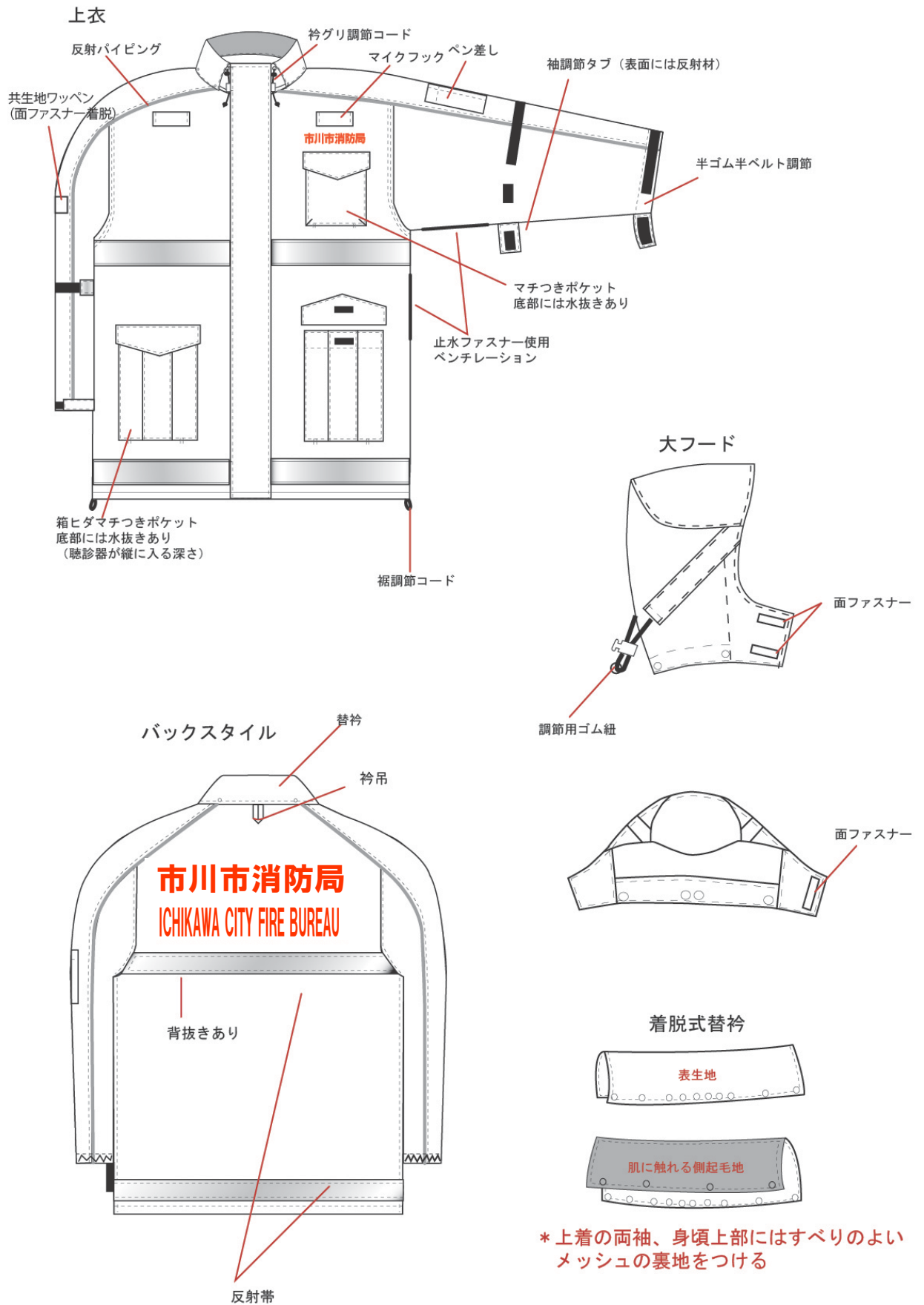
ICHIKAWA CITY FIRE BUREAU

<胸>オレンジ

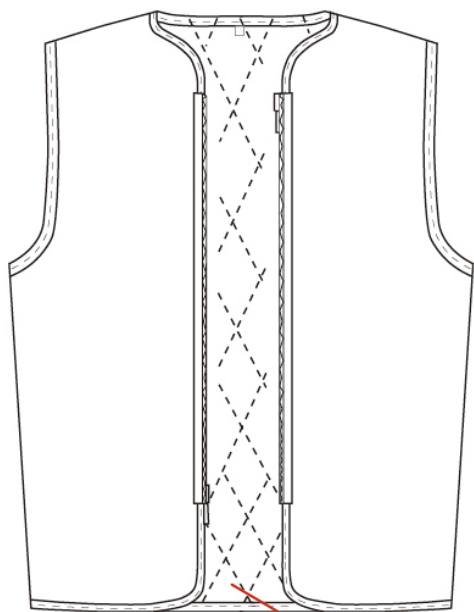
胸用 W100mm×H17.7mm

市川市消防局

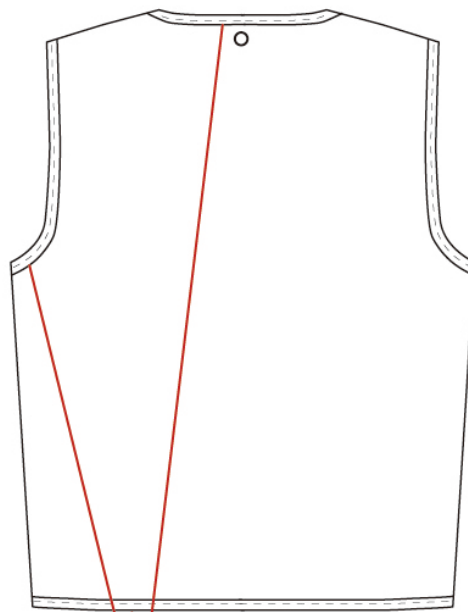
7 全体図 (参考)



キルトライナー

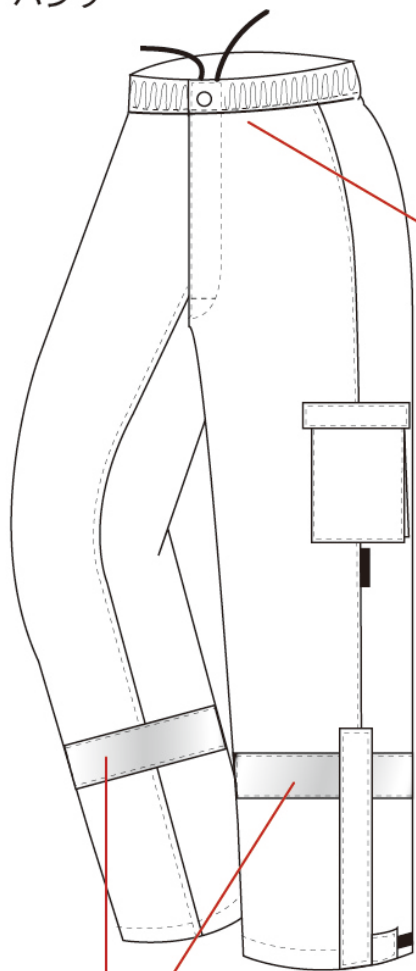


内側がキルト地



パイピング始末

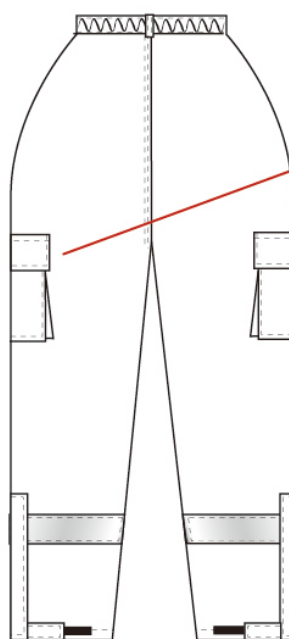
パンツ



腰部は調節ヒモ、ゴム入れ

反射帯

バックスタイル



マチ付きカーゴポケット

裾部はファスナー開き、ヒョク付きで、面ファスナー調節付き

所属別予定数

救急隊員用防寒衣

	上衣	ズボン
消防総務課		
企画管理課		
指令課		
指令センター		
予防課		
警防課		
救急課		
東消防署	2	2
中山出張所	2	
高谷出張所		
西消防署	2	2
国府台出張所		1
大洲出張所		
南消防署	2	4
行徳出張所		
広尾出張所		1
北消防署	1	
曾谷出張所		
合計	9	10